

Voice ジュビリー 25 : 東京

全国の同窓生と再会する貴重な機会 これまで機会がなかった新潟出身の79回生との交流も

平成27年6月1日（月）、ジュビリー 5025が開催されました。

ジュビリー（jubilee）とは旧約聖書のレビ記に「ヨベルの年」として記されたユダヤ教で50年に1度行われる祝賀に基づいたもので、25年、50年に1度行われる祝年を意味するそうです。それにちなんで毎年6月1日に行われている日本歯科大学創立記念式典に卒後50年・25年の校友会会員が参列し、伝統と誇りを胸に母校への愛校心を高めるとともに、今後の限りない発展を祈念することを目的としてスタートした制度です。

今回は中原 泉 理事長・学長先生をはじめ近藤勝洪校友会本部会長らお歴々のおられる昭和40年ご卒業の54回の先生方と平成2年卒業の我々79回がこの制度最初の参加者となりました。

当初、突然の校友会本部からの案内に戸惑う同級生も多く、多数の問い合わせがありました。自分自身も学内在籍とはいえ詳細を把握していませんでした。大学が企画してくださる記念の式典だからと答えておりましたが、結果的には月曜日という平日にもかかわらず、遠くは青森から三重に至る多くの同級生と久しぶりに再会することができました。

生命歯学部富士見ホールで行われた式典に初めて参加する同級生たちはホール壇上に設置された神前に緊張の面持ちで入場し、中原 泉 理事長・学長先生が玉串奉奠されたのちの二礼二拍手一礼の同拜に感動を隠せない様子でした。

式典終了後は式典に参列された方々とともにホテルグランドパレスでの大学主催のパーティーに参加させていただきました。パーティーではお互いの現

況や昔話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎていきました。特にこれまでなかなか機会が無かった新潟出身の79回生たちとも交流ができたことは非常に有意義な時間となりました。

また、参加した記念として54回の先生方が金色、われわれ79回が銀色の校章をいただきました。

来年は55回卒、80回卒の先生方が対象となります。後日我々の話を聞いて参加すれば良かったと悔やむ同級生もいましたし、普段なかなか会うことができない同級生たちが一堂に会する良い機会であります。是非一人でも多くの先生方に参加していただきたいと思います。

そして、自分自身も25年後には本制度最初の金銀両方の校章を受け取る最初の学年として式典に参加したいと考えております。

このような素晴らしい催事を企画して下さった校友会本部の皆様に深甚なる謝意を捧げますとともに、この企画が末永く継続されること祈念しまして、ご報告とさせていただきます。

（石垣佳希・79回記）



近藤勝洪校友会本部会長を囲んで集合写真